

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月24日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104365
法人名	有限会社 ベストケアライフ
事業所名	グループホームかわかみ (華の家)
所在地	鹿児島市川上町1854-1 (電話) (099) 243-7735
自己評価作成日	平成30年3月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成30年3月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ・入居者の方々が、明るく楽しく生活できるように支援している
- ・毎日のレクリエーションを行い、また季節に合わせた行事を行っている
- ・入居者に合わせた庭の散歩などを行っている

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

○事業所は幹線道路を少し入った住宅地の中にあり、他法人の運営する福祉施設と隣接した場所にある。また、近くには、スーパーやドラッグストア、レストラン、コンビニ等が多くあり、大変便利な立地環境となっている。

○自治会に加入しており、地域の清掃活動や総会、防災訓練に参加するなど交流している。また、保育園児との交流や中学生の職場体験、小中学生のサマーボランティアの受け入れなど、教育機関とも協力し合い関係を深めている。

○年2回の災害訓練には、地域住民に参加を呼び掛けるとともに、利用者の家族にも参加してもらい実施することができた。また、職員会議では、噴火や地震、台風や雪害時の対応について確認し合う機会も設けた。備蓄や備品も十分であり、防災頭巾に関しては、利用者全員分を備えるなどしている。

○レクリエーション活動の一環として書道に取り組みされており、毎年、「筆の都」広島市、全国書画展覧会に利用者の作品を出展している。出展した作品については、出展者全員に展覧会運営委員会より賞状が贈られ、リビングに飾っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・毎朝、理念を声に出して確認し、頭に入れておくようにしている	理念である「みんなで助け合い、安心のある暮らし」を、玄関や事務所に掲示し、毎朝唱和することで意識付けを図っている。また、職員が話し合い立てたサブ理念には「私」らしく生きたい等、個々の支援を大切にした思いを掲げるなど、より具体的な支援につながるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域の行事への参加や近くの保育園からの訪問などで交流をしている	自治会に加入し、地域の清掃活動や総会、防災訓練に参加している。また、保育園児によるお遊戯や歌の発表等の慰問や、中学生の職場体験、小中学生のサマーボランティアの受け入れなど、教育機関との協力関係も築いている。日常的に散歩に出かけ、近所の方と挨拶や会話を交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・地域の方にホームのことを理解していただくようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・開催の度に家族へ案内をしている。家族の事情もあり、同じ顔触れであったり参加者の少ない回もあったりする	会議には家族や自治会長、消防署員等が参加しているが、日曜日開催のためか行政職員の参加が得られていない状況である。会議では、入居者状況や活動内容、外部評価の報告がなされるほか、口腔ケアや認知症等、職員が受けてきた研修内容の報告等勉強会も兼ねて行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>・市の介護相談員や中学生の職場体験、サマーボランティアの受け入れなどを通して協力している</p>	<p>介護保険関係書類の提出や相談事がある場合に出向いたり、問い合わせたりしている。また、市の保護課とも連携を図っている。年1回介護相談員が来られ、利用者から話を聞き取り、内容を管理者と協議している。行政主催の介護保険関係の研修や、グループホーム協議会主催の研修会に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・研修、勉強会などを行い、身体拘束のないようなケアを目指している</p>	<p>身体拘束や虐待に関する研修会を年に数回、職員会議の中で行っている。言葉による拘束については、不適切な言動がみられた場合は、ユニット毎に話し合いの場を設け、再発防止に向け確認し合っている。自由な暮らしを支援するため、職員は日頃より見守りを徹底させている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・職員会議や勉強会などで話し合いを行い、虐待のないように心掛けている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・わからない点も多いため勉強会、研修等で学んでいきたい</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・分からない事や不安な点などを確認しながら、家族に説明を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・運営推進会議への参加をお願いし、意見を出し合っている</p>	<p>利用者からは、日々の会話や様子観察により意見を把握し、家族からは運営推進会議や面会に来られた時等、随時意見を尋ね聞き取っている。また、請求書に併せて、毎月ホーム便りを送付することで感想や意見を伺っており、遠方の家族とは電話で要望を伺うなどしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員会議やユニット会議などで話し合いを行い、意見を出し合っているほか、個別に意見を聞いたりしている</p>	<p>職員の意見を、申し送り時や職員会議で確認するほか、状況に応じて個別面談を行うこともある。伝達事項をホワイトボードに書き込み、職員間で情報共有を図っている。研修への参加希望や資格取得については、職員が学びやすいよう事業所として考慮しているところである。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・職員の希望を可能な限り叶えられるよう調整を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・施設外での研修に参加してもらい、後日職員会議などの発表の場を設けている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・情報を収集しながら参考にしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・病院など家族の要望を受け、本人と家族が安心できるように努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・家族の要望に耳を傾け、出来る限り努力をしている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・本人家族の要望を聞いて本人に合った支援ができるように対応の検討をしている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・洗濯物をたたんだり食器を拭いたりをともに行い、出来ない事は支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・大きな行事の時には一緒に過ごしていただけるよう働き掛け、本人のために家族にお願いしたいことがある場合は相談もしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・手紙や電話などの交流や、面会なども必要に応じて支援している	これまでの生活歴を把握し、家族や友人知人等との関係が途切れないよう、電話や手紙の取り次ぎを行っている。お正月やお盆の帰省、お墓参り等、個々に希望する外出先には、家族の協力をもらい支援につなげている。また、来客時は居室でゆっくり過ごしてもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・間に入りながら食事やレクリエーションを一緒に行うことで、入居者同士のコミュニケーションを図るよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・要望があればいつでも相談に乗れるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の希望の把握に努め、思いを表現できない方には本人本位の視点に立って支援している	本人の思いや意向を入居前アセスメントで聴取するとともに、病院や介護施設等関係者からも情報を収集し、汲み取るようにしている。また、入居後も日々の行動や表情をよく観察して、本人の思いを代弁している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人との雑談や繰り返し話をする事で今までの生活の状況を知るように努力している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・朝の申し送りやこまめな情報交換・共有を行うことで把握できるようにしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・職員会議やユニット会議などで意見を出し合い、ケアの在り方の検討を行っている	本人と家族の意向を基に定期モニタリングやカンファレンス、主治医の意見も参考にしながらケアプランを作成している。また、状態が変化した場合には、入院中であれば病院に出向き、アセスメント聴取するなど、状態に即したケアプラン作成に努め、担当者会議を経て関係者に交付している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・個別に介護記録に記録し、また申し送りにて情報を共有して、ケアの実践や介護計画に見直しに活かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・その時々状況に合わせて、要望に応じて支援している</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・地域の保育園の訪問や、サマーボランティア、見守りメイトなどの受け入れも行っている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・できるだけ本人及び家族の希望に沿ったかかりつけ医を継続している</p>	<p>入居後もこれまでのかかりつけ医を受診できるよう家族と職員が連携し支援している。協力医療機関による訪問診療が受けられることや夜間等緊急時にも速やかに医師と連携できるため、本人、家族の安心につながっている。受診の内容は申し送り時等随時確認し合い共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・体調などの変化に気付いたら相談してアドバイスをもらい、必要ならば受診等の相談もしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・病院と連絡を取り合い、家族の考えを確認しながら、早めに退院できる環境を整えている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・本人や家族の思いを確認し、どこまで対応できるか話し合ったうえで、可能な限り対応できるようにしている</p>	<p>入居時に、重度化や看取り支援に関する説明を口頭で行っており、状態に変化がみられた場合には、その都度、本人と家族に今後の支援方法を確認するようにしている。看取りの際は、医師や訪問看護、家族等関係者間で連携を図りながら支援につなげている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・勉強会など学ぶ機会を作っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年2回以上の防災訓練を実施し、家族や地域の方へ参加をお願いしたり、消防にも参加してもらって指導をしてもらっている</p>	<p>年2回、夜間想定を含む災害訓練に利用者の家族にも参加してもらい、実施することができた。また、職員会議で地震や噴火を想定した対応の方法についても確認し合うことができた。備蓄は飲料水や米、レトルト食品を準備するほか、備品についても、利用者全員分の防災頭巾を用意するなど、万々に備えた対応がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一人ひとりの性格やその時の状況に合わせて、声掛けなどの工夫をしている	利用者の性格や個性を把握し、個々に応じた声かけや会話に気を配りながら日々接している。職員の声かけや対応に不適切な場面がみられた際には、随時確認し合うとともに、職員会議でも話し合うことでプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ホームの中での散歩や一緒に歌をうたっている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ある程度決められた時間の中で、その時の状況によって時間をずらしたり日を変えたりして、一人ひとりのペースを大事にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・定期的に訪問理容に来てもらい、カットや髪染めをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・できる片付けをお願いしたり、入居者に合わせて食事の工夫をしている</p>	<p>食材宅配サービスを利用しているため、献立は決まっているが、誕生日には好きなものが食べられるよう支援している。また、正月や雛祭り、クリスマス等の行事の際は、季節が感じられるよう行事食を提供している。毎日の食事は、利用者と職員が同じメニューを一緒に食べている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・毎日の体調や変化に注意し、食事量や水分量を確認して体調の管理に努めている</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・食事前の嚥下体操を行い、食後の口腔ケアも個人に応じた介助を行って、清潔保持に努めている</p>	/	/
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・一人ひとりの排泄パターンに合わせて声掛けや誘導するなどして、トイレで排泄できるよう支援している</p>	<p>トイレの場所を矢印で示すなど、わかりやすいよう工夫されている。排泄チェック表は必要な方には、記録してパターンを把握し、トイレ誘導につなげている。可能な限りトイレでの排泄とすることで、おむつの使用量を減らす努力をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分補給や野菜を取り入れた食事、軽い体操を行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・曜日と時間はある程度決められているが、本人に確認し、状況に合わせて入浴できるようにしている	衛生面からも週3回程度は入浴してもらいたいと考えており、個々の状態に合わせた入浴を支援している。入浴後の軟膏塗布など皮膚ケアの徹底や、水分補給についても、好みの飲み物を提供するなど気を配り対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・それぞれのペースに合わせ、また個々の希望に応じて休憩の声掛けなどを行っている		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員が何度も確認し、服薬の際には飲み込みまで確認している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>・みんなで楽しめること（歌やカルタ、しりとり、散歩など）を行っている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>・重度化が進んでいるために思うように外出ができなくなっている</p>	<p>加齢による体力の低下や重度化に伴い外出の機会が少なくなっているが、室内ばかりではストレスにつながるため、家族が外出や外泊を支援したり、職員が個別に外出を支援している。中庭は休憩や散歩しやすい造りになっているため、今後お茶や食事を楽しむ機会を作りたいと考えている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・要望に応じて職員が代行している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・個々に応じて対応し、はがきや手紙を書かれている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・毎日掃除を行って清潔であるように注意し、季節の飾り物をしたり明るい空間になるように工夫をしている</p>	<p>リビングや廊下には、所々に天窓が配置されているため大変明るい。リビングは普段仕切られているため、ユニット間の行き来は制限されるが、仕切りを取り外すとリビング同士がつながり広くなるため、保育園児との交流等、行事の際に活用している。中庭は広く、スロープがあり出入りしやすい造りとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・ソファやテーブルの位置や向きなどを工夫し、お互いが過ごしやすい空間になるようにしている</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・馴染みの音楽を聞いたりアルバムや本を観たりしながら過ごせるように工夫をしている</p>	<p>ベッドやエアコン、洗面台、トイレやタンス、クローゼットが備え付けられている。また、自宅からテレビやソファ、仏壇を持ち込まれる方もおり、個々の過ごしやすさに配慮した室内環境としている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・名前や手すりなどを付け、誰でも分かりやすいように個々に応じて対応している</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない